

隣接小学校において、小小連携特配を活用している例（一部教科担当制）

校名	みどり市立大間々北小学校									みどり市立福岡中央小学校																																																										
学級数	学年	1	2	3	4	5	6	特支	計	学年	1	2	3	4	5	6	特支	計																																																		
	学級数	2	2	1	2	2	2	2	13	学級数	1	0	1	0	1	1	2	6																																																		
特配 教員 活用 状況	理科専科（大間々北小学校置籍 週19時間）									理科専科（福岡中央小で勤務 週19時間）																																																										
	○毎週月・水・木曜日は大間々北小学校で勤務 ○5, 6年の理科（3時間×4学級）、書写（3学級）、委員会活動を担当									➡									○毎週火・金曜日に福岡中央小で勤務 ○4～6年の理科（3時間×3学級）を担当																																																	
教科 担 当 制	○3学年以上で教科担当制（交換授業等により）																																																																			
	<p><算数> 4～6年2学級を習熟度3クラスに分ける。 1, 2組担任+マイクンティチャーで対応 下位クラスは担任+マイクンティチャー 3年 各学級にマイクンティチャーが入ってTT指導</p> <p><社会、理科> 3, 4年 各学年内で交換授業 5, 6年 理科専科</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>算数</th> <th>理科</th> <th>音楽</th> <th>家庭</th> <th>外国語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年1組（A教諭）</td> <td></td> <td></td> <td>A J</td> <td></td> <td>I</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4年1組（B教諭）</td> <td>H書</td> <td>C</td> <td rowspan="2">B C J</td> <td>B</td> <td>I</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4年2組（C教諭）</td> <td>H書</td> <td>C</td> <td>B</td> <td>I</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5年1組（D教諭）</td> <td></td> <td>D</td> <td rowspan="2">D E J</td> <td>H</td> <td>I</td> <td>I</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>5年2組（E教諭）</td> <td>H書</td> <td>D</td> <td>H</td> <td>I</td> <td>I</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>6年1組（F教諭）</td> <td></td> <td>F</td> <td rowspan="2">F G J</td> <td>H</td> <td>I</td> <td>I</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>6年2組（G教諭）</td> <td></td> <td>F</td> <td>H</td> <td>I</td> <td>I</td> <td>E</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">理科専科：H教諭 音楽専科：I教諭 マイクンティチャー：J教諭</p>								国語	社会	算数	理科	音楽	家庭	外国語	3年1組（A教諭）			A J		I			4年1組（B教諭）	H書	C	B C J	B	I			4年2組（C教諭）	H書	C	B	I			5年1組（D教諭）		D	D E J	H	I	I	E	5年2組（E教諭）	H書	D	H	I	I	E	6年1組（F教諭）		F	F G J	H	I	I	E	6年2組（G教諭）		F	H	I	I
	国語	社会	算数	理科	音楽	家庭	外国語																																																													
3年1組（A教諭）			A J		I																																																															
4年1組（B教諭）	H書	C	B C J	B	I																																																															
4年2組（C教諭）	H書	C		B	I																																																															
5年1組（D教諭）		D	D E J	H	I	I	E																																																													
5年2組（E教諭）	H書	D		H	I	I	E																																																													
6年1組（F教諭）		F	F G J	H	I	I	E																																																													
6年2組（G教諭）		F		H	I	I	E																																																													
成果 (○) と 課題 (●)	<p>① 兼務教員を活用した教科指導の連携による学力向上</p> <p>○教科担当制の推進により、さらに専門的な指導が展開され、児童の興味や関心、授業への意欲が高まり、学力向上の一助となった。</p> <p>○理科専科の兼務教員による2校の教材教具を合算しての活用や合同授業の実施、補充学習の推進などとおして、指導の効率化と、児童の学習の深まりへとつなげていくことができた。特に合同授業の思考・判断場面では多様な意見が出され、より充実した授業が展開された。</p> <p>●全職員の学力向上に対する共通理解に基づき、兼務教員を活用した教科指導の連携による学力向上を図るとともに、授業軽減による教材研究の充実を図りながら、教科担当制についてもさらに効果的に推進したい。</p> <p>② 小中学校の9年間を見通した教育課程の作成</p> <p>○理科、道徳、音楽、生活、総合などの2校合同の授業の実施や、2校合同の児童会活動の「北小まつり」、福岡中央小学校区での5年生「林業体験」、6年生の「室町文化体験」「土器づくり」、低学年の「合同校外学習」など、多くの行事を合同で行い、交流を図り、連携を深めた。こうした特色ある教育課程は、児童にとってよい刺激となり、いずれ同じ中学に通う小学校同士の連携として意義あるものであった。</p> <p>●合同授業、合同行事のねらいと実施後の評価を十分行うことが大切である。また両校の特徴を生かした合同行事の拡充に検討の余地がある。</p> <p>③ 中一ギャップ解消に向けた中学校への円滑な接続</p> <p>○合同授業や合同行事を通して、2校の児童の相互理解が進んだ。また、同一の中学校進学後の中1ギャップ解消にも期待が持てる。</p> <p>●合同行事で2校の児童のふれあいが多く持てる場面では、人間関係づくりについて教師が十分配慮して指導する必要がある。</p> <p>④ 小中をつなぐを考慮した校内研修、生徒指導での連携</p> <p>○教科担当制の推進により、学級に複数の教師が指導に入る場面が増え、児童理解の深化、個々の課題の早期発見、早期対応に役立った。</p> <p>●生徒指導の連携は場面場面で可能であるが、校内研修の連携はあまり進まなかった。</p> <p>⑤ 兼務教員の活用による学校経営上の効果の検証</p> <p>○兼務教員は、兼務する2校の同学年同士の授業の様子を伝えたり、各学年の取組や生徒指導の様子等を伝えたりすることにより、2校の架け橋としての役割を果たした。また、職員間の相談場面が増えたことにより、職員の協働体制が推進できた。また、兼務教員の活用により、教員の空き時間確保につながり、教材研究など授業準備にかかる時間が増え、より質の高い授業実践につながった。</p> <p>●兼務教員と各担任との連絡・協議の時間を定期的に確保し、担任の考えや思いを取り入れる時間も持ちながら実際の進捗状況と計画のずれを早期に修正し、その後の指導の効果を上げられるように努めていく必要がある。</p> <p>⑥ その他</p> <p>○2校職員間で小小連携学年別会議を実施した。他校同学年の教員同士の話し合いの中で、学習指導や生徒指導、行事の運営など情報交換を進めることにより、教員自身の視野が広がったり、悩みの解消ができたりと職員間の連携による効果が見られた。また、合同行事の実施により、事前準備等の効率化を図ることができた。</p> <p>●小小連携学年別会議は有意義であったとする教員の声が多かった。今回連携を行った2校の範囲をさらに広げた複数校で学年別連携会議があるとよいという意見も見られた。特に学年単学級の学級担任としては、他校同学年の職員との情報交換は有意義であると考えられる。</p>																																																																			